

～子どもたちは今・・・～



たまご組(0・1 歳児)

9 月のたまご組は新しい物がたくさん！先日、手紙でお知らせした新しい椅子により対面で食べる環境が整いました。0 歳児も保育者も互いの顔が見えるので安心！子どもたちの意欲的に食べる姿に繋がったなと感じています。友だちや保育者と一緒に食べる喜びや、食べ物の感触・匂い・形を自分で確認できる嬉しさで食事が楽しい時間になりました。

2 つ目は、買い物バック！先生に新しい布バックを作ってもらったことで子どもたちは大喜び！たまご組には先生たちの手作りの玩具がたくさんあり、特にままごとの道具は人気です。フェルトで出来た食べ物を握って掴んで、バックの中へ。新しいバックができた事で大好きな買い物ごっこがさらに楽しくなりました。指先を上手にを使って遊んでいます。中でも 1 歳児は、保育者や友だちの存在を感じながら、同じ空間で遊びを楽しむ姿が増えてきました。

10 月は新しい友だちが 2 人増えます！楽しみです。先生や友だちとの関りを通して、心と身体の成長に必要な環境をしっかりと整え、これからも見守っていきたいと思います。



ことい組(2 歳児)

9 月に入り、心地の良い風を感じながら戸外遊びを楽しめる日が増えてきました。靴を履くと一目散で遊びの広場へ！ベッカムやアースに「おはよう」と声を掛けたり、大好きな虫たちを見つけ、大興奮です。ある日、遊びの広場にある“ヨウシュヤマゴボウ”を発見！鮮やかな紫色の実に子どもたちは釘付けです♪「ブルーベリーみたい！」と嬉しそうな声もありました。ペットボトルの容器に実を入れ振り、水を注ぐと…きれいな紫色の色水が完成です。光にかざすとキラキラ光ってとてもきれいでした。次の日は見つけた実を部屋に持って帰り作った色水で障子紙を染めたり、ままごとでジュースに見立てて遊ぶ姿もありました。自然の中での発見に心を弾ませること組の子どもたちです。

ホットタイムで歌っている“きょうはバナナの日”が大好きになり、教えてもらった振りをしながら歌い、ふとした時に「きょうはばなのひ～♪」と口ずさむ子もいます。また、10 月は子どもたちが楽しみにしている芋掘りがありますね。土にたっぷり触れながら、自分で掘った嬉しさや楽しさをたくさん感じていきたいと思います。そして、戸外では“走る”をもっともっと楽しんでいきたいと思います。



すみれ組(3 歳児)

夏休みが終わり、久しぶりにみんなに会えたことを喜びあった子どもたち。いよいよ第一保育期から楽しみにしてクッキングに向けて心を動かししました。助け合ってエプロンを身につけたり、クッキングの手順をみんなで確認したりしながら、初めてのクッキング、【きらきらコロちゃんクッキー】に挑戦です。袋の中でホットケーキミックスとマーガリンが混ざっていく様子や、コロコロ丸めた後の手の甘い匂いなど、五感をたっぷりと使ってクッキングを楽しみました。

クッキングを重ねていく中で、子どもたちは自信と誰かに食べてほしい…という気持ちを持つようになりました。おじいさんおばあさんのスマイルが集まる日ではそんな子どもたちの気持ちが形となり、クッキーでおもてなしをし、ひつじ組とほし組が作ったスコーンやピザを食べ、たくさんのスマイルがうまれました。子どもたちはクッキングをきっかけに、食材への興味や食べることへの楽しみをこれまで以上にふくらましています。そして、音楽や絵本を通してであった、食べ物の歌や物語に心をうごかしています。カーニバルに向けて、歌の世界観を制作でも楽しんでいます。過ごしやすくなってきた園庭で身体を思いっきり動かし、とびきりの笑顔がはじけています。今後も継続して、身体をたくさん動かし、歌や絵本の世界を楽しんでいきたいと思います。



ひつじ組(4 歳児)

ついに、楽しみにしていた【ブルーベリージャム】のクッキングをすることができました。子どもたちは、ぐつぐつと鍋で煮詰める音を聞いたり、煮詰めてジャムになる様子をじっと見て変化を発見したり、たくさん心を動かしながらクッキングに取り組みました。そして、完成したジャムを食べると、「スコーンにつけたら美味しいかも！」という声があり、【ブルーベリージャムスコーン】も作りました。3回目となるスコーン作りで、自分たちで声をかけ合いながら、混ぜる・こねる・丸める体験を楽しみました。とてもおいしい「ブルーベリージャム」「スコーン」をみんなにも食べてもらいたいという思いも募りました。そこで、誕生日プリンにのせたり、おじいさん・おばあさんのスマイルが集まる日で沢山のスコーンを作ったりして、おじいさん、おばあさん、そして、すみれ組、ほし組のみんなにも食べてもらうことができました。みんなからの「おいしかった！」「ありがとう」という声から、ますますクッキングに意欲的なひつじ組です。

また、過ごしやすい季節になり、遊びの広場で元気いっぱい遊ぶ姿がたくさん見られます。竹ぽっくりやマラソンでバナナポイントを集めたり、新聞紙でバナナを作ったりと、バナナに夢中、そして身体を動かすのに夢中な姿が見られます。今後も、走ったり、飛んだりと色々な動きをしながら、沢山身体を動かして楽しみたいと思います。



ほし組(5 歳児)

9月に入り、ほし組のみんなでバナナを使ったピザを作ってから『きょうはばなのひ』や『ゾウバナナ』という歌を楽しんでいます。歌だけでなくバナナが題材の絵本を通して「バナナは緑色の時に収穫して運ぶんだ！」「ブラジルにもあるんだ！」と、みんなバナナに興味津々です。遊びの中では、幼稚園を1周走ったらバナナ一本分の「ばななんぼん？マラソン」や竹馬で遊ぶ時にもバナナが登場します。また、牛乳パックやペットボトルなどのいろいろな素材を使ってバナナづくりも行っています。本物そっくりのバナナを作ろうと、絵本をよく見たり給食に出てきたバナナを観察したりと張り切っています。

さて、そんな中でカーニバルに向けての活動も少しずつ始まりしました。今回のテーマは「カーニバルもバナナ～！」という子どもたちの声から、みんなが大好きな“バナナ”をテーマにすることに決めましたよ。ほし組になったみんなは、カーニバルの入場門のデザインを考えたり、カーニバルのタイトルを考えたりとみんなで協力しながら“バナナ会議”を進めています。

これからもみんなと話し合い、協力し合いながら色々な活動を楽しんでほしいと願っています。



預かり保育(3・4・5 歳児)

第2保育期が始まりクラスで頑張っている事や楽しかった事を友達と話す姿がありました。すみれ組でクッキングをした日に「今日のクッキーおいしかったね！！」「何の形にしたと思う？」などと楽しそうに話しています。そして粘土を丸めたり型抜きをしたり遊びの中でもクッキー作りを楽しんでいます。

ようやく外で身体を動かせる季節になり、ひつじ組は、鬼ごっこをしたり群れあそびを通して友達と遊ぶことの楽しさを味わい、「あ～楽しかった」と満足そうに戻ってきます。

ほし組は外で走ったり、ボール遊びをしたり竹馬を頑張る姿もみられます。汗をかいたら水分補給や着替えも自らする姿が多く見られるようになりました。

預かり保育は異年齢の子どもたちが一緒に過ごしているので、遊び方も様々なのですがほし組がルールや遊び方を教えてくれたり、「ホールで走るのは危ないよ！すべって転んだら怪我しちゃうからね」と生活面でも気づいたことを伝えてくれます。異年齢が共に過ごし、関わりを豊かにもちながら成長していったほしいと願っています。